

<第 7 回産業医学合同オンラインフォーラム開催>

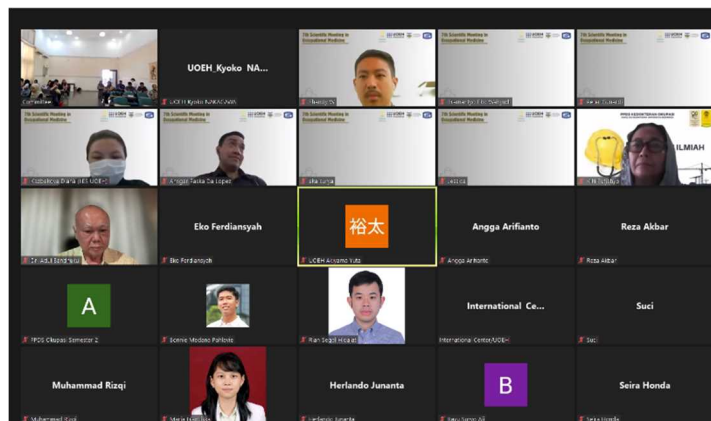
4 月 25 日(木)、本学が覚書を締結している国立インドネシア大学(UI)、タイのノパラット・ラジャタニー病院 (NRH)、韓国カソリック大学 (CUK) 及び本学 (UOEH) の 4 機関共催で産業医学合同オンラインフォーラム (“UI-NRH-UOEH-CUK Joint Interesting Occupational Medicine Regular Forum”)を開催しました。

本フォーラムは参加国における産業医学に関する法制度や実践について理解し合うことを目的とし、ホスト国の産業医学レジデントによる発表及び参加機関の産業医学レジデント間でのディスカッションにより構成されており、2022 年 9 月から 3 か月に 1 回開催しています。

第 7 回となる今回は国立インドネシア大学がホストとなり、同大学の Muchtaruddin Mansyur 教授による開会の挨拶に続き医師 2 名による発表（「再発性結核で左肺が損傷した図書館司書の職務適性評価と職場復帰プログラム」及び「シリカ粉じんにはく露したガラス工場労働者の非小細胞がん」）が行われました。今回のフォーラムには 111 名の参加があり、各発表の後には産業生態科学研究所の修練医も参加し活発な質疑応答が行われました。



オンラインミーティング(オープニングスクリーン)



オンライン参加者の様子



質疑応答



Muchtaruddin Mansyur 教授